

パパ・ママ子育て知恵袋

第32回は「私の心がおだやかになります」

どうしても45分間、教室にいられない子がいます。

シゲキ君もそうです。

シゲキ君は、たくさんの人の中にいることができません。

音がたくさん聞こえてくると、そわそわしてきます。

文字や絵がIPPENに目に入ってくると、たまらなくなります。

だから、時々、教室を飛び出します。

先生は授業中ですからシゲキ君を追いかけるわけにはいきません。

廊下にある内線電話を使って、職員室にいる先生にSOSを出して、授業を続けます。

内線電話をとった先生が、シゲキ君を探します。

飛び出して階段から落ちたりしては大変です。シゲキ君は廊下をとぼとぼ歩いていました。先生はシゲキ君に「どうしたの?」「何があったの」「教室に戻らないとダメですよ」などとは言いません。

シゲキ君だって自分の行動が正しいとは思っていません。でも、たまらないのです。あれ以上、教室にいたら、奇声を発して暴れてしまうかも知れないから飛び出したのです。それを先生はわかっています。

黙って、シゲキ君について行きます。

20分くらいすると、シゲキ君は落ち着きを取り戻して、教室に戻ります。

お友達たちと担任の先生は小さな声で「おかえり」と言います。

SOSを受けた先生がしたことは、ただ一緒にいただけです。

こうした光景がどの学校でも見られます。

ただ一緒にいる。

ただ待つだけ。

それを繰り返す。

すると、繰り返しの間隔が開いてくる。

どうしてそうなるのか。きっと脳の中で何かしら働くのでしょう。

抑えつけようとする、大人もヒートアップして体罰や暴言になることがあります。私はパニックになっている子がいると、ひとまず「何かすること」をあきらめます。

そして、ただ一緒にいる。時々、放っておく。けっこうなガマンが必要ですが、うまくいくと**私の心がおだやかになります。**（この話は続きます）